

今後の検討課題（案）

- ブローカー対策等、技能実習生の需給調整のあり方
- 「研修」のみで1年以内に帰国する場合の取扱い
- 帰国後の技能移転の実効性確保
- J I T C Oのあり方
- その他

○ブローカー対策等、技能実習生の需給調整のあり方

①受入れ団体による不正行為等

団体監理型で不正行為等の問題や、失踪者が多く発生、特に団体監理型の中でも異業種組合に所属する企業において、問題が見られる割合が高い。

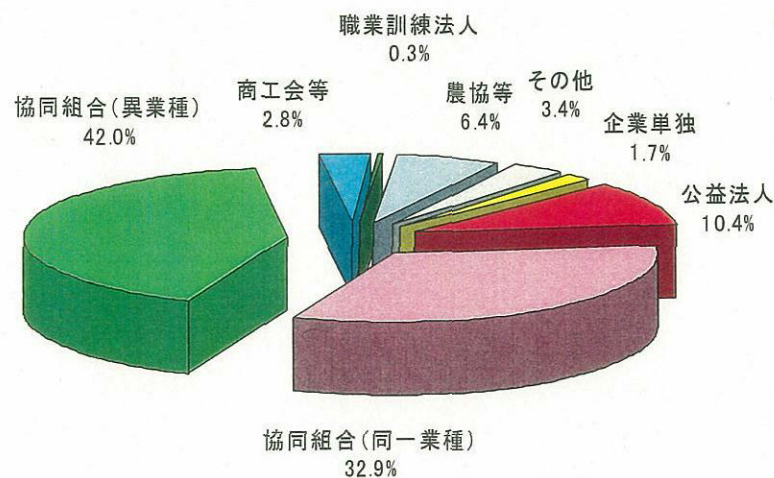
不正行為認定件数 (法務省データ)

	H15年	H16年	H17年	H18年	合計
認定件数	92	210	180	229	711 (100%)
うち団体監理型	87	208	175	218	688 (97.0%)

技能実習期間中における失踪者数 (JITCOデータによる)

	失踪者報告数(A) (2001年度～2005年度)	当該期間に失踪の可能性のある 技能実習生数*(B)	A/B×100(%)	
企業単独型		121	7,856	1.5
団体監理型		6,198	156,558	4.0

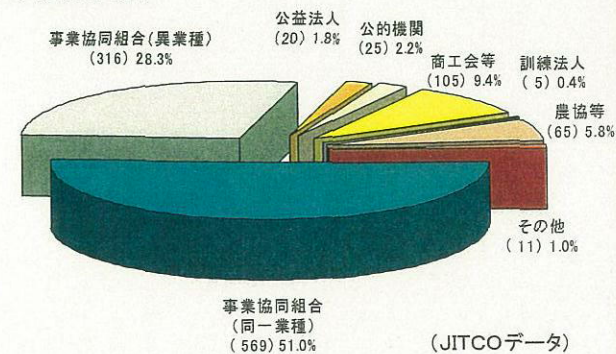
JITCO巡回指導で指摘のあった受入れ企業の属性(受入団体)別割合(平成17年度)



(JITCOデータ)

受入機関の属性	受入企業数
企業単独	72
公益法人	430
協同組合(同一業種)	1,363
協同組合(異業種)	1,741
商工会等	117
職業訓練法人	11
農協等	265
その他	142
合計	4,141

技能実習移行申請企業(団体監理型)が所属する団体の種別内訳



(JITCOデータ)

技能実習移行申請企業が所属する団体
(研修時の第1次受入れ機関：全1116団体)の種別内訳